

2019年3月号(第74号)

発行/企画 社協・編集会議

社協とつか

社会福祉法人 横浜市戸塚区社会福祉協議会
住 所：〒244-0003 戸塚区戸塚町 167-25
T E L：045-866-8434
F A X：045-862-5890
E-mail：info@totsukashakyo.com
http://totsukashakyo.com/

「おいしいね」からはじまる地域の「輪」

みなさんは、レシピ、材料、味などにこだわり、そこで働く障害者がひとつひとつ心を入れてパンやクッキーを作っている作業所等をご存知ですか。区内には、身近な地域に立ち寄れる作業所等がたくさんあります。

今号では、区内でパンやクッキーを扱っているお店を紹介し、障害者と地域のつながりについて考えます。この春は、ぜひ社協とつかを片手にお散歩しませんか。



パティシエによる本格的な洋菓子

スマイルガーデン



上矢部町にある洋菓子のお店「スマイルガーデン」は、パティシエ（横田 秀夫氏）によるレシピ提供、メンバー自らお菓子作りの指導を受けるなど、本格的な洋菓子を作っています。自慢の一品である「横濱フリアン」は、新作黒豆も加わり、4つの味が楽しめます。真っ白なパティシエのコスチュームに身を包んだメンバーは、皆さん生き生きと仕事をしています。

おすすめ3品 (税抜き)

- ① 横濱フリアン150円
- ② マドレーヌ160円
- ③ シュークリーム200円 (店舗販売のみ)



店舗情報

営 月～金 10:00～17:00
販 店舗、注文、ギフト対応可。戸塚モディ、西武東戸塚店での催事出店あり
住 上矢部町 143 東建ニューハイツ1階
☎ (045) 435-5701
🌐 <https://smileoneinc.com>



作り手の個性を生かしたパン作り

東戸塚地域活動ホームひかり パン工房 DEM



東戸塚駅のそばにあるパン工房DEMは、10年以上のキャリアを持つメンバーが愛情を込めて、毎日焼き上げています。焼き上がりにあわせて、地元の方がくるみレーズンや食パンを目当てに訪れています。ほぼ毎日、午後には完売する盛況ぶりです。また、イートインコーナーもあり、焼きたてのパンとともにコーヒーや紅茶、ジュースなどの飲食も楽しめます。

おすすめ3品 (税抜き)

- ① くるみレーズン150円
- ② メロンパン120円
- ③ 食パン200円



店舗情報

営 月～金 9:30～16:00
販 店舗、注文
住 川上町4-9
☎ (045) 828-2820
🌐 <http://www.y-hikari.jp/>



ふわっと香る「小麦のかおり」 横浜YMCAワークサポートセンター パン工房 アンジュ



上倉田町にあるパン工房アンジュは、上質な小麦、天然酵母などこだわりの材料を使い無添加のパンを販売しています。メンバーは、パン職人とともに材料の計量や販売作業など役割分担をしながら仕事をしています。あんパンなどの菓子パンから惣菜パン、フランスパン、果物を使用したデニッシュなど、毎日60種類、500個のパンが焼き上がっています。

- ・おすすめ3品 (税込)
- ① アンジュブレッド(イギリスパン) … 280円
 - ② さくらあんパン … 140円
 - ③ クリームパン … 140円

店舗情報

営 月～金 8:30～16:30 販 店舗、注文
住 上倉田町1673-1 ☎ (045) 867-0090
🌐 <https://www.yokohamaymca.org/facility/work-support-ange/>



笑顔になる「パン」と「コーヒー」 障害福祉サービス事業所であいの 喫茶 メロンハウス



11時開店前、メンバーがひいている自家焙煎のコーヒーの香りが漂い始めると、近所の人が一また一人とお店にやってきます。作業場から焼き立てのパンが運ばれてくる頃には、たくさんのお客さんで賑わっています。喫茶では、メンバー手作りのコーヒーカップに注がれたコーヒーとこだわりの焼き立てパンを食べることができます。

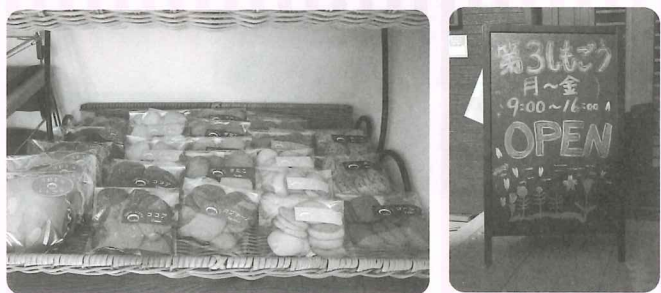
- ・おすすめ3品 (税込)
- ① 照り焼きチキンパン … 120円
 - ② ミニチョコトッポ … 150円
 - ③ くるみレーズン … 150円
- 喫茶は、コーヒー、ジュース等あり。
パンは100円から販売しています。

店舗情報

営 月～金 11:00～14:00 販 店頭、注文
住 上矢部町2342 ☎ (045) 811-2442
🌐 <http://www.deainokai.com/>



明るい笑い声あふれるお店から届けます NPO法人活動ホームしもごう 第3しもごう



「こんにちは」お店のドアを開けると、メンバーの楽しそうな明るい笑い声が響いています。笑顔につつまれた作業場で作りだされるマドレーヌを一口食べると、思わず笑みがこぼれてしまいます。作業所としてスタートして30年、味も製法もずっと変わらず守り続けています。メンバー一人ひとりが主役であり、やりたいことにトライすることを大事にしながら、今日も元気にお菓子作りをしています。

- ・おすすめ3品 (税込)
- ① マドレーヌ(プレーン) … 100円
 - ② ココアクッキー … 100円
 - ③ レモンティークッキー … 100円

店舗情報

営 月～金 9:30～16:00 販 店舗、注文
住 戸塚町1486 ☎ (045) 862-6226
🌐 <http://www.shimogou.com/>



からだがよろこぶ お菓子を NPO法人りんごの木

南舞岡の住宅街にあるりんごの木は、注文をいただいてからお菓子作りをしています。お菓子作りを始めた20年程前からよつ葉バターにこだわり、北海道産の小麦粉、種子島の砂糖(洗双糖)など厳選された材料を使い、メンバーさんが心を込めて手作りしています。また、希望があればギフト等のラッピングも行っています。

店舗情報

販 店頭販売なし、注文、ギフト対応可
住 南舞岡3-2-7 ☎ (045) 826-0014



- ・おすすめ3品 (税込)
- ① ミックスクッキー (ごま・紅茶など) … 300円
 - ② パナマフィン … 120円
 - ③ パウンドケーキ(ブルー) … 700円



地域にねざして… NPO法人風の音

クッキーを一口ほおばると、レモンのさわやかな風味が、口の中いっぱい広がります。自慢の一品であるレモンクッキーは、クッキー好きなメンバーが心を込めて手作りしています。「たとえ障害があっても、皆さんと同じように、街の中で生活できることを目指しています」をモットーに日々活動をしています。

店舗情報

営 月～金 9:00～17:00 販 店頭販売なし、注文
住 平戸町949-6 ☎ (045) 826-4227
🌐 <http://www.kazenooto.org/>



- ・自慢の一品 (税込)
- ① レモンクッキー … 200円

アイコン説明 🍞 パン 🍰 ケーキ 🍪 クッキー 🍰 マドレーヌ 🍰 パウンドケーキ 🛒 他 雑貨等 ☕ 喫茶

(注意事項)
・商品等の表示価格は、取材当時の価格となります。・注文内容によっては対応できない場合もありますので、必ず事前にご相談して下さい。

掲載記事に関するお問い合わせ: 戸塚区社会福祉協議会まで

聞いてみよう。 障害者と地域のつながり作り

今回は、特集「おいしいね」からはじまる地域の「輪」を通して、障害者と地域のつながりについて、本会障がい福祉分科会会長、社会福祉法人クローバー 理事長 高橋 良壽氏にお話を伺いました。



社会福祉法人クローバー
理事長 高橋 良壽氏

まずは、クローバーのお菓子を紹介していただけますか。
クローバー(深谷)では、「バナナブレッド」だけを作っています。



なぜ、バナナブレッドだけなのでしょう。

実は、私たちの大事にしていることとして「一人ひとりの個性を活かす」があります。バナナブレッド作りは、4～5人でやっていいますが、材料を計量することが好きな方、バナナの皮をむくのが得意な方など、それぞれの好きなことや得意なことを活かすプログラムを考えたところ、バナナブレッド作りが一番活かせる方法でした。

私は、彼らが自分の持っている力を十分に活かし、その経験の中で自分が誰かの役に立っていることを感じたり、やり遂げることの満足感を得ることで、また次の力を発揮できるようになるのではと考えています。近所の方が、バナナブレッドを食べて「おいしかったよ」と声をかけてくれることが、彼らにとって自信につながり、社会の役に立っている事を実感する経験につながります。個性豊かなメンバーがたくさんいらっしゃるようですが、ほかにもプログラムはあるのでしょうか。

たとえば、社交的な方は、営業担当としてカレンダーを届けたり、絵を描くことが得意な方は、カレンダーのイラスト担当など、様々なプログラムがあります。

今回は、この特集を通して、あらためて障害者と地域の

つながりを考える機会にしたいのですが、高橋さんはどのように地域とのつながり作りを考えていますか。

皆さんが持っている障害者のイメージってありますよね。してあげないといけないとか…「してあげる」ことではなく、障害者と地域がお互いプラスの関係になればいいなと考えています。もちろん、このバナナブレッドも障害者だからといって、手は抜いていません。レシピもパティシエから提供していただき、お菓子作りも指導を受けています。また、事業所では、近所の方を調理員として雇用するなど様々な取組をしています。このような活動を日々積み重ねながら、地域との信頼関係を作っていることを理解していただければと思います。地域とのつながり作りが次世代のメンバーへのバトンとなっているのです。

では、最後に高橋さんから読者の方にメッセージをお願いします。

まずは、メンバー自慢の品々を食べてみてください。どれも愛情たっぷりのおいしい物ばかりです。そして、近所でみかけたら、「おいしかったよ」と声をかけてください。そこから地域との「輪」が広がっていきます。

生活介護事業所 クローバー
住 深谷町826-1 ☎ (045) 392-6926
・自慢の一品 (税込) バナナブレッド…100円

連載

福祉人材シリーズ 戸塚の輝くひと vol.10

— 仕事の内容を教えてください —

介護が必要な方の身体的、精神的ケアをする仕事です。主に食事、入浴、排泄等の介助を行っています。

— なぜこの仕事に就きたいと思われたのですか —

音楽が好きでずっとバンド活動をしながら、飲食店や雑貨店などでアルバイトをしていました。5年ほど経て、そろそろ定職につかないといけないと考え始めました。福祉関係の仕事をしていた両親にすすめられ、そのタイミングでヘルパーの資格をとり、この仕事に就きました。

— 地域との交流はありますか —

施設では、近隣の方が習字やレクリエーションなどボランティアとして活動しています。先日は、舞岡囃という獅子舞のボランティアグループが来てくれました。

— 「社協とつか」読者へのメッセージ —

家族の会話に福祉の話題がでていたので、なんとなくイメージできていましたが、現実には甘くないなと思いました。でも、利用者の方から「ありがとう」と言われると、自分が役に立っていることを実感でき、やりがいを感じます。また、一人ひとりの利用者の方が主体なので、その方を取り巻く様々な職種の職員やご家族とのチームワークがとても必要とされます。「究極のサービス業」という言葉がいいのでしょうか。福祉の仕事って大変とイメージがありますが、人として成長できる現場です。ぜひ、この現場で一緒に働きませんか。



親切、信頼、良質の介護
社会福祉法人親善福祉協会
特別養護老人ホーム 恒春の丘
やすだ しんぺい
介護福祉士 8年目 安田 慎平さん

とつかボランティアセンター通信

ボランティア活動を始めよう！

とつかボランティアセンターではボランティア活動を始めたい方々のサポートをしています。一人ひとりの希望を伺い、講座や活動先を紹介したり、活動先と見学の調整をするなど、ボランティアデビューをする皆さんが不安のない形で活動を始められるようにお手伝いします。

ステップ 1 聞く!

「ボランティアのいろは」は毎月10日に開催しています。ボランティア活動に関する基礎知識を学ぶとともに「助け上手・助けられ上手」カードを使った体験でボランティア活動のイメージをふくらませます！



ボランティアのいろはの様子

ステップ 2 話す！

来会にてボランティア登録を行います。ボランティア登録カードの記入をもとに希望を伺います。皆さんの「得意なこと」「好きなこと」等直接聞かせてください！

氏名・住所・連絡先は
必須です！

⇒お近くの活動を紹介することも可能です。

活動可能日の希望を
記入します。

⇒時間帯に合わせた活動を紹介します。

活動内容の希望を伺います。

➡興味のある活動に○をつけていきます。経験、特技等を活かした活動もご紹介できます。

[illegible]

ステップ 3 活動へ！

事前に活動見学をしたり、活動初回にボランティアセンター職員が同行したりすることも可能です。活動後は皆さんからの報告をお待ちしております。



柏尾川で清掃中

TOPICS

保健活動推進員 70周年戸塚区記念事業開催 12月12日(水)



保健活動推進員70周年戸塚区記念事業

こう」を会場の皆さんと歌いだすと、場内が和やかな雰囲気になりました。



戸塚区保健活動推進員会 会長堀内潔氏

今後に向けて「ポピュレーションアプローチ」をキーワードに、地域の身近な存在として健康づくり活動に取り組んでまいります。

保健活動推進員とは？

行政の健康づくり施策のパートナーとして、赤ちゃんから高齢者まで全ての年代を対象に、地域でウォーキングや体操教室などの健康づくり活動に取り組んでいます。



編集後記

今号で紹介した障害者施設のお菓子やパンは、ほんとうに美味しいです。ぜひ食していただいて、心も身体もほっこりしてくださいね。
(編集委員 T氏)

(編集委員 T氏)

ボランティアに興味のある方、ボランティアに依頼したいことがある方、その他ボランティアに関する質問等、まずはお気軽にご相談下さい。

とつかボランティアセンター

窓口開設：月～土 9:00～17:00

※日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）を除く

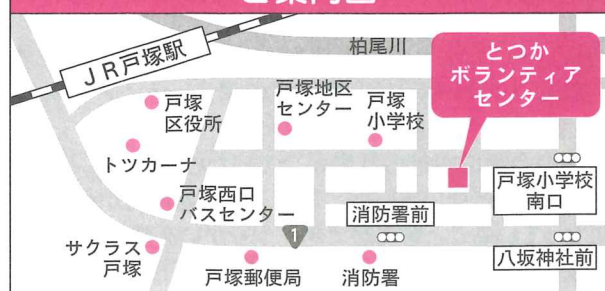
住 所：〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 167-25
戸塚区社会福祉協議会

TEL: 045-866-8483

FAX: 045-862-5890

Email : volunteer@totsukashakyo.com

ご案内図



「社協とつか」は区民の方々から寄せられた共同募金の一部を用いて発行しています。